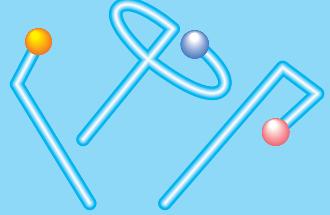


せん だん



希望・夢・愛

一人も泣く人のいない一人残らずの人が喜ぶ社会づくり

新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様方におかれましては、日頃より社会福祉法人一れつ会ならびに関係事業に対しまして、温かいご理解とご支援を賜り、心から深く感謝申し上げます。

昨今、保健・医療・福祉業界において人材不足が恒久的な課題となっている中、20年後には人口減少・少子高齢化が進行し、今後ますます福祉サービスの需要の増大・多様化が見込まれる時代へと移っていきます。このような状況の中で、将来にわたって質の高いサービスを確保する観点から、職員の資質向上を図る仕組みづくりも急務となっています。

当法人では、社会福祉充実計画に基づく人材育成の一環として、全職員が同じ講師から共通のテーマに沿って学びを深められる全員参加型の法人内研修を昨年2月より取り入れております。全職員が共通した講義を受けるため、研修終了後に職員間でファイードバックし、意見を出し合いながらお互いの考え方を擦り合わせることができるのは、双方にとって良い影響を与えることに繋がると思っています。その他、日々、多忙な職員が容易に自己のスキルアップを図ることや事業所単位で勉強会等に活用できるようネット配信による『フォローアップ研修』を導入いたしました。職員がいつでもどこでもパソコンやスマートフォンを用いて、介護技術やコミュニケーション技術、組織づくりといった多岐にわたる内容を動画で学べるようになつてきているため、今後計画的・効果的な運用を行つていきたいと考えております。

本年度もこのようないくつかの取り組みを継続させ、法人全体の底上げを図りたいと考えています。同じく充実計画に基づき実施しております放課後児童クラブにつきましては、昨年夏季休業中には45名の子ども達の利用があり、日々利用される子ども達も多くなっています。子ども達や保護者の方々に安心していただける事業として、今後も地域に貢献できるよう努めています。本年もより一層、高齢・障害・児童などの分野、地域や組織の枠を超えて連携・協働体制を模索しながら、複眼的視野をもつて支援の充実にまい進したいと考えておりますので、変わらぬご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人
一れつ会 理事長 小林 智久

〒720-2419 福山市加茂町字上加茂811番地
TEL : (084)972-5544 FAX : (084)972-5549 IP電話 : 050-3821-0740
HP : <https://www.ichiretsukai.jp> E-mail : itiretu@h2.dion.ne.jp

●事業所一覧

せんだんの家（生活介護、就労継続支援B型）

いこいの家（施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援）

ウイズ（就労継続支援A型）

ほほえみ（生活介護）

居宅介護支援センター和らぎ（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援）

ほっと（一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業）

しんふおにい（生活介護、就労継続支援B型、日中一時支援）

春日寮（施設入所支援、生活介護） かすが（短期入所、日中一時支援）

青葉（生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援、自立訓練（生活訓練））

いすみ（共同生活援助（グループホーム））

かがやき（放課後児童クラブ）

社会福祉法人 一れつ会



全職員が同じ講師から同じ講義を受ける！

～外部講師による全員参加の法人内研修～



元梅花女子大学准教授の植田先生をお招きし、一ヶ月会では、これまでにない初めての取り組みを実施しています。

これは、社会福祉充実計画に則り、職員の人材育成と支援の質の向上を目的にしたもので、全職員が、「コミュニケーション」「人間関係」「面接技法」「燃えつきの防止」などについて学びや気づきを深められる内容になっています。

研修は、役職や経験年数等によって8グループに分かれ、昨年2月から今年3月までの間で、一般職員は2回、主任・主任補佐は4回、管理職は8回の研修を受講しますが、はじめ2回の研修内容は全職員共通です。

研修では、グループメンバーの役職や経験年数に応じた必要な考え方や姿勢を学ぶとともに、講義だけではなく、課題発表やグループワークを通じて、問題の解決や課題の達成に向けて、学びや気づきを深めています。

とはいっても、決して堅苦しい研修ではなく、植田先生のいろいろな経験をまじえながら、大変わかりやすくお話し下さい、いつも楽しみにしています。

この研修を受けさせていただく中で、私たちが携わっている福祉の仕事は、ご利用者・ご家族・地域・関係者とのコミュニケーションはもちろんのこと、「よい仕事」「よい支援」をしていくためにこれまで以上に職員間のコミュニケーションを大切にしていきたいと思うようになりました。

研修の内容を職員みんなが共有することで、「よりよい仕事」「よりよい支援」につながるのではないかでしょうか。そのことで職員がやりがいを感じるとともに、より働きやすい職場になっていくと思います。

(ほほえみ 小林 千代)

【植田寿之先生のプロフィール】

1960年、奈良県生まれ。同志社大学文学部社会学科社会福祉学専攻卒業。13年間の社会福祉現場経験後、同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士課程（前期）に進学。修了後、皇學館大学社会福祉学部助手、梅花女子大学現代人間学部講師および准教授を経て、現在フリーで講演、研修講師、執筆等活動中。その他、社団法人日本社会福祉士会理事、奈良県社会福祉士会会長などを歴任。

著書『対人援助職の燃え尽きを防ぐ』『続・対人援助職の燃え尽きを防ぐ 発展編』『物語で学ぶ対人援助職場の人間関係』『日常場面で実践する 対人援助スーパービジョン』『マンガで学ぶ 対人援助職の仕事』（創元社）など。

湯田温泉の旅 in 山口 ~家族一泊旅行~

11月21日（木）～22日（金）、総勢85名がバスで山口へ旅行に行きました。この家族旅行は、一ヶ月会最初の施設である「せんだんの家」ができてから続いているものです。障がいのある方やそのご家族が、新幹線や飛行機に乗って旅行に行くということは、今までこそ珍しくないことですが、せんだんの家ができる昭和63年頃は珍しいことでした。「自分で働いたお金を積み立てて、貯まったお金で旅行に行く」。これを楽しみに利用者のみなさんは仕事に励まれ、ご家族と一緒に、沖縄、北海道、東京ディズニーランドにも行ったそうです。

さて、時は流れ令和初の家族旅行の1日目は、岩国市の錦帯橋、山口市の瑠璃光寺に行きました。錦帯橋では販売しているソフトクリームが約100種類もあり、メニューを見るのにも、そして、どれにするか選ぶのにも時間がかかるほどでした。ご家族で参加されていた方は、それぞれのソフトクリームを食べ合いつっこし、「こっちの方がおいしいね」と話されていて、微笑ましい光景に心が温かくなりました。

宿泊した『湯田温泉ホテル 西の雅 常盤』では、おいしいフグ料理に舌鼓を打ち、名物女将主催の『女将劇場』の観劇を楽しみました。その後、白狐の伝説が残る『湯田温泉』につかり、日頃の疲れを癒しました。

2日目の『秋吉台自然動物公園サファリランド』のふれあいコーナーでは、利用者は、普段触ることのない動物の毛並みに触れ、興味津々でした。

この旅行では、他事業所の利用者さん、そしてご家族、職員間の親睦を深めることができました。普段の生活からは見ることのできない姿も多くみられ、毎日の生活や作業の支援も大切ではあるけれども、旅行という非日常の体験を提供し、楽しんでもらうことも大切だと感じた2日間でした。

(せんだんの家 藤田 志織・いこいの家 三宅 友彦)



『お菓子をくれなきや食べちゃうぞー!!』

今後も、利用されるみなさんに安心・安全に過ごしてもらいつつ、楽しんでいただけるイベントを企画したいと思います。

(いこいの家 豊田 和也)

いこいの家の日中一時支援では、年に4回、季節に応じたイベントを行つており、イベントを通して季節を感じていただくとともに、イベント当日まで協力し合つて準備することで、達成感や満足感を味わつていただけるよう工夫しています。

今回は、10月26日（土）に行つたハロウインパーティーをご紹介したいと思います。パーティーの準備を1ヶ月ほど前からみんなで協力して少しずつはじめ、当日までに素敵な会場を完成させました。パーティーでは、ハロウイン

クイズやハロウインにちなんだ絵本の読み聞かせを行い、ハロウインの由来や歴史を知つてもらえる機会になりました。お待ちかねの仮装では、みんなでお化けの衣装に着替えて館内をにぎやかに歩き、練習通りに、「トリック オア トリート!!」と言つて、たくさんのお菓子を受け取つていきました。みんなが美味しそうにお菓子を頬張る表情は笑顔にあふれ、その姿を見ている私たち支援員もうれしくなるほどでした。



「一緒に過ごす楽しい時間！」

いこいの家では、平日は作業活動と創作活動に分かれ、それぞれの班で活動に励んでいます。土曜日や祝日は、日常とは違う活動を提供することを目的に、楽しい企画を考え、たくさんの利用者さんが参加してくださっています。

今回は10月19日（土）の外出企画を紹介します。利用者さん22名、支援員10名の総勢32名で福山市金江町にある『みろくの里』へ外出しました。利用者のみなさんは、外出が決まつてからと言うものの「楽しみだね」「ジエットコースターに乗るよ」「メリーゴーランドにも乗る」とワクワクしていました。



（いこいの家 山田 仁美）



フードコートで、牛丼や唐揚げなどの写真のメニューを見ながら自分で食べたい物を決め、お財布からの支払いも自分でしました。

帰りの時間が近くなつた頃、「乗らない」と言っていた利用者さんが、他の利用者さんが楽しそうにメリーゴーランドに乗つっている姿をじっと見つめられていました。支援員が「乗つてみますか？」と尋ねると、静かにうなずかれたので、支援員の介助と付き添いで乗つていただくと、目がきらきらと輝き、とても嬉しそうな表情になりました。



私たち支援員はみんな、利用者さんが楽しむ姿、喜ぶ表情にあわせを感じました。そして、今後もまた、こんなひと時を一緒に過ごせるよう、さまざまな企画を提供していくたいと思いました。

（いこいの家 山田 仁美）

「南海トラフ地震を想定した福山市総合防災訓練に参加しました」

11月24日（日）、南海トラフ地震を想定した全市一斉の総合防災訓練が実施されました。

今回の訓練は、地震が発生し、その後、津波が発生する想定でした。日曜日の朝、利用者の方々は自分の部屋やリビング（共有スペース）などで、それそれいつものように過ごされていました。9時、福山市から地震発生を知らせる緊急メールが入りました。職員が「地震です！頭を守つて下さい。テーブルの下に入れる人は入つて、動かないで下さい！」と声掛けを行いました。

数分後、今度は津波発生の緊急メールが入りました。今回の訓練では、全員が2階のリビングへの避難を行いました。地震が発生している想定なので、エレベーターは使えません。転倒の可能性のある利用者さんは職員が付き添うことでの、転倒やトコブルもなく、全員無事に避難できました。

春日寮は、地震を想定した訓練も実施しておりますが、近年地震の発生が増えていますことから、利用者の方の安全確保のために私たち職員の災害に対する知識の定着や訓練の必要性を改めて感じました。

尚、春日寮は海拔15mの場所にあり、福山市津波ハザードマップでは津波対象外エリアとなつていますが、いざ災害が発生した際に、より安全な場所に避難するという必要性も強く感じました。

みんなのご自宅や職場では、訓練に参加されましたか。是非、こうした機会に訓練を行つて、いざという時に備えましょう。

（春日寮 杉野 健二）

利用者の一般就労が実現！

青葉：就労移行支援事業

福山市青葉台1丁目に障がい福祉サービス事業所「青葉」があります。青葉では、就労継続支援B型事業と生活介護事業を実施しておりますが、それらの事業に加えて、本年の4月より一般企業への就労支援を行う「就労移行支援事業」と基本的生活スキルの向上を目的とした「自立訓練事業」を再開しました。

この度、「就労移行支援事業」の利用者1名が、企業へ就職できましたので、取り組みをご紹介させて頂きます。

今年の8月末、C社より障がい者雇用のお話をありました。就労移行支援事業を利用されているAさんにC社からのお話をしたところ、当初は仕事の内容に対するイメージが湧かないためか、少し消極的な姿勢でした。そこで、まずは職場見学を実施し、Aさんに実際の仕事内容を見て頂きました。職場見学の終了後には、見学時の振り返りや職場体験実習へ向けての意思確認を行いました。

後日、本人より職場体験実習を行うとの意思表示があり、数回の職場体験実習を行いました。実習を行う上で仕事に対する前向きな姿勢が見られるようになりましたが、一方で、通勤方法や履歴書の書き方について不安だという声が聞かれるようになりました。

通勤方法については、支援員と実際に公共交通機関を利用しての通勤経路の練習を行い、活動の中で履歴書の書き方に関するアドバイスや面接の模擬練習を繰り返し実施しました。その都度、本人に気になる事や不安な事を確認しながら、一つひとつ不安を解消するような支援を実施し、本人が安心して就労へ移行できるように取り組みました。

こうした日々の中で自信がついてきたのか、こわばっていた表情が徐々に笑顔へと変わり、前向きな発言も増えるようになりました。

その後、本人の真面目な勤務姿勢が評価され、11月にC社から内定をいただき、同月末よりC社にて就労する事となりました。

就職が決まってからのAさんは、今まで以上に丁寧な作業が必要だと感じるようになりましたが、丁寧な作業を心掛けて取り組んでいました。また、バスを利用して色々な場所へ行ってみたいと夢を膨らませていました。

私たち支援員は、利用者の方が夢を膨らませ、笑顔になれるように、今後も、障がいのある方たちの就労に向けた取り組みを頑張っていきたいと一層強く思うようになりました。

(青葉 佐々木 隆志)

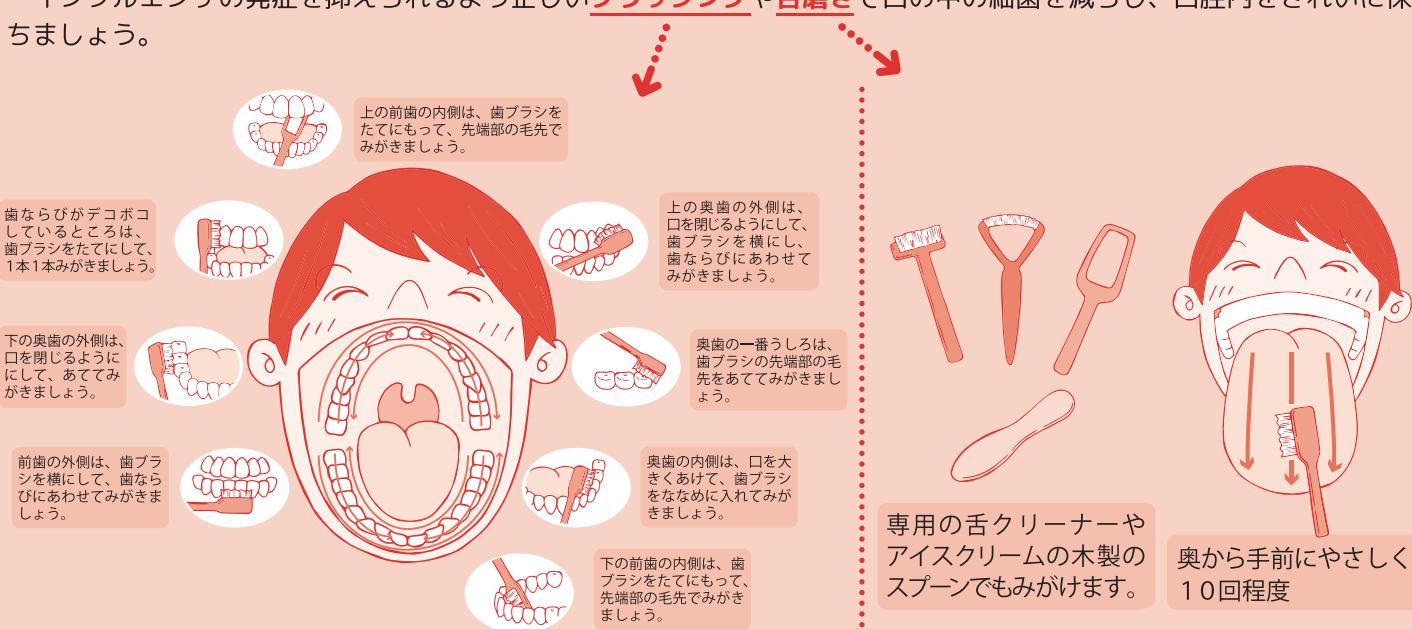


Health 「口腔ケアでインフルエンザ予防」

今年はインフルエンザの流行入りが過去2番目の早さで、大流行も予測されると報道されています。インフルエンザ予防として手洗いや消毒、ワクチン接種や加湿などが知られていますが、実は、口腔ケアが効果的であることが分かっています。

ある介護福祉施設で行われた研究では、歯科衛生士が週1回歯磨きや舌みがきの指導、プラーク(歯垢)の除去を行ったところ、実施しなかった施設と比べて、インフルエンザの発症率が10分の1に激減したという報告があります。

インフルエンザの発症を抑えられるよう正しいブラッシングや舌磨きで口の中の細菌を減らし、口腔内をきれいに保ちましょう。



今年はインフルエンザの新たな予防法として口腔ケアについても実践してみてはいかがでしょうか。

(いこいの家 看護師 松村 寿美)

せんだんの家コンサートにお越し頂き、ありがとうございました。



10月27日（日）に福山市北部市民センターで「第34回せんだんの家コンサート」が開催されました。コンサートの開催にあたり、舞台出演やボランティア、パンフレットの広告協賛等、多方面で支えて下さったすべての方々に感謝申し上げます。

当日は気持ちのいい秋晴れで、コンサートに先立って行われた屋外でのイベントや模擬店はたくさんのお客様でにぎわいました。今年

はハロウィンが近かったことから、例年にはない「バッヂをつけている人を探してね」イベントを試みました。バッヂを付けていたスタッフを見つけたら、お菓子がもらえるというものでしたが、年齢問わず、多くの方に楽しんでいただけたようでした。

コンサートのオープニングでは、中野会のみなさまと利用者8名が一緒に、一つの御神輿を担いで会場に登場し、開演を盛り上げました。その後約2時間、希元奈央様となかよしこども園・加茂小学校の皆様など8団体の出演者の方々と利用者さん、そして観客の方が、ふれあい、共によろこび時間を過ごせたを感じています。

来年もまた、親しんでいただける「せんだんの家コンサート」を開催し、多くの皆さんと、出会い・ふれあい・つながりたいと願っております。

（青葉 佐々木 将之）



ありがとうございました

（9月～11月）
(順不同)

●ご寄付

・日本生命労働組合福山支部様

●御祝・御礼

・備後信用組合
会長 高橋 俊策様
・杉原医院様
・三島産業株式会社様
・石井 昭市様
・塙出 順子様
・延近 善浩様
・福山市第23次民生委員児童委員協議会様
・加茂学区福祉を高める会様
・神田 浩志様
・田邊 敦哉様
・古閑 英親様
・山田 英児様
・奥野 順子様
・田川 喜久様

・梶原 英士様

・森脇 恭様
・能宗 昭人様
・渡邊 幸子・研史様
・なかよしこども園
・小川 典子様
・土井 寛淳様
・後藤 常範様
・堀 勝彦様
・近藤 恒一様
・佐藤 勝春様
・小野 登志子様
・福山手をつなぐ育成会
理事長 西山 堅太郎様
・社会福祉法人 共働福祉会
理事長 戸田 栄次様
・尾熊 達雄様
・上 瞳二様
・行武 治代子様

・山下 哲治様

・山田 修二様
・山田 活子様
・高安 桂子様
・中前 安夫様
・川上 篤美様
・福山平成大学バレー部様

●ご寄贈

・加村様
・立神 和哉様
・大場 澄代様
・小林 匠様
・得能 公平様
・土居石油様
・就実大学様
・山本 麻衣様
・嶋 理恵様
・山本 郁江様

・しんふおりいご家族有志15名

・三輪 尊教様
・島谷 伸弘様
・藤井 栄子様
・土屋 康彦様
・田邊 由紀様
・尾崎 あゆみ様
・林 政博様
・徳永製菓株式会社様
・梶原 勝美様
・武田 節夫様
・田中紹介有限会社様
・橘高様
・株式会社 ヨシケイ福山様
・杉原 真里子様
・村田 真実様
・西田 鈴菜様
・福山平成大学様
・田川様

実習生・就業体験実習・職場体験・ボランティア・見学 (9月～11月)

●実習生 (加茂地区)

(三吉地区)
(春日地区)

・福山平成大学様

12名

・就実大学様

3名

・広島国際大学様

2名

・福山市立大学様

3名

・就実大学様

1名

・京都産業大学様

1名

・創価大学様

1名

・環太平洋大学様

2名

・吉備国際大学様

1名

・岡山県立西備支援学校様

1名

・広島県立福山北特別支援学校様

1名

・岡山県立西備支援学校様

1名

・広島県立福山北特別支援学校様

2名

●ボランティア (加茂地区)

(三吉地区)
(加茂地区)

・広島県立福山特別支援学校様 5名

・広島県立福山北特別支援学校様 2名

・広島県立沼隈特別支援学校様 1名

・神辺V連 たけの子様 3名

・手話サークル ゆびこみ様 5名

・要約筆記サークル ふきのとう様 1名

・ヘルスボランティアの会様 3名

・穴吹医療福祉専門学校様 1名

・ジブラルタ生命 第二営業所様 6名

・広島県立神辺高等学校様 3名

・福山市社会福祉協議会ボランティア様 1名

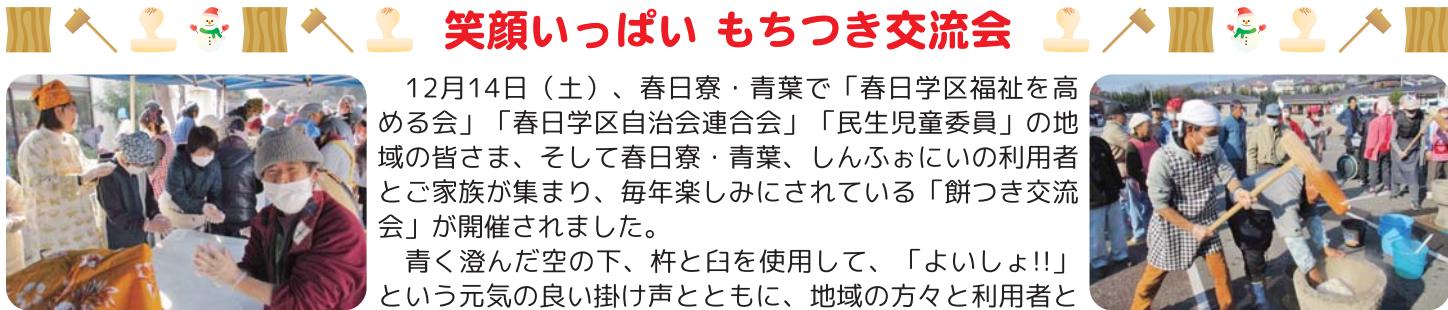
・福山平成大学様 7名

・日下清美様 18名

・広島県立福山特別支援学校様 45名

●見学

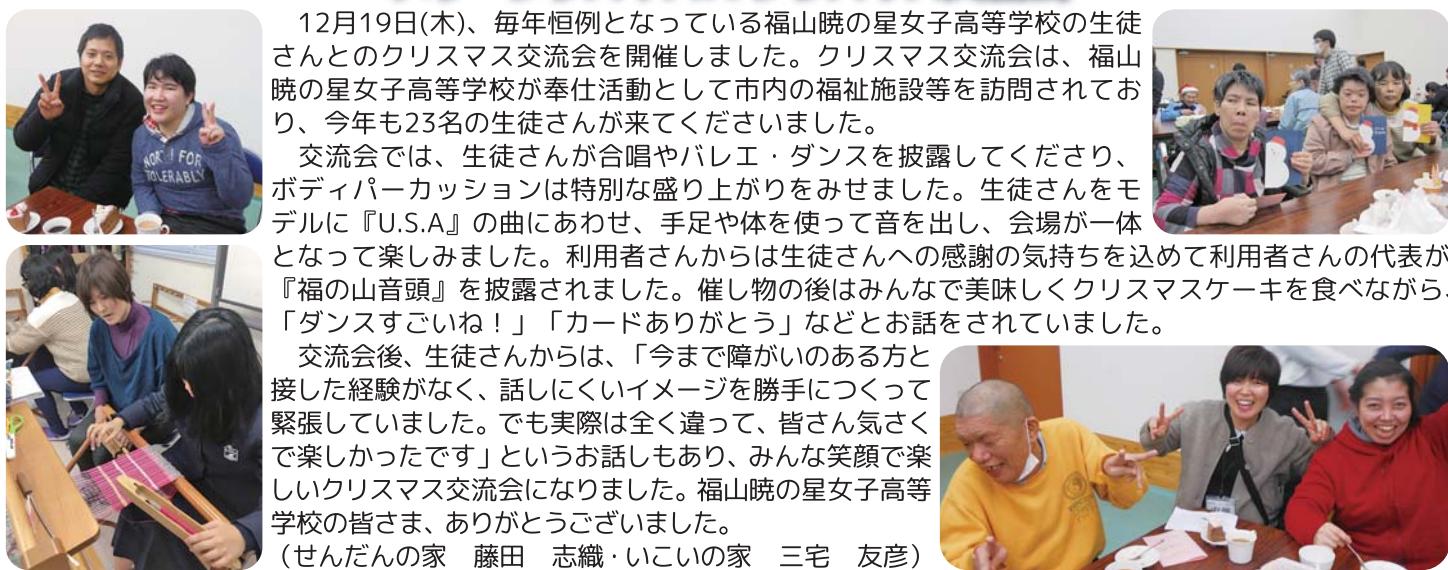
笑顔いっぱい もちつき交流会



12月14日（土）、春日寮・青葉で「春日学区福祉を高める会」「春日学区自治会連合会」「民生児童委員」の地域の皆さん、そして春日寮・青葉、しんふおにいの利用者とご家族が集まり、毎年楽しみにされている「餅つき交流会」が開催されました。

昔ながらの杵で、みんなでついたできたてのお餅の味は格別で、「美味しい」「おかわりしたい」との声が会場のあちこちからあがっていました。天気にも恵まれ、地域の方々と楽しい時間を過ごすことができました。
（春日寮 広畠 輪造）

メリークリスマス♪クリスマス交流会



12月19日(木)、毎年恒例となっている福山暁の星女子高等学校の生徒さんとのクリスマス交流会を開催しました。クリスマス交流会は、福山暁の星女子高等学校が奉仕活動として市内の福祉施設等を訪問されており、今年も23名の生徒さんが来てくださいました。

交流会では、生徒さんが合唱やバレエ・ダンスを披露してくださいり、ボディパーカッションは特別な盛り上がりを見せました。生徒さんをモデルに『U.S.A』の曲にあわせ、手足や体を使って音を出し、会場が一体となって楽しみました。利用者さんからは生徒さんへの感謝の気持ちを込めて利用者さんの代表が『福の山音頭』を披露されました。催し物の後はみんなで美味しくクリスマスケーキを食べながら、「ダンスすごいね！」「カードありがとう」などとお話をされていました。

交流会後、生徒さんからは、「今まで障がいのある方と接した経験がなく、話しにくいイメージを勝手につくって緊張していました。でも実際は全く違って、皆さん気さくで楽しかったです」というお話しもあり、みんな笑顔で楽しいクリスマス交流会になりました。福山暁の星女子高等学校の皆さん、ありがとうございました。

（せんだんの家 藤田 志織・いこいの家 三宅 友彦）

フジグラン神辺店『ほっと』にてワークショップを2回開催しました♪



10月13日（日）は第10回「コルクボードでハロウィンの壁かけをつくろう」、12月15日（日）は第11回「大きな松ぼっくりとドライフラワーでクリスマスツリーをつくろう」を開催しました。参加して下さった方は、好みの飾りを選び、楽しそうに作られていました。お客様から「普段は手作りなどしないのでいい経験になります。また参加したいです。」という声をいただいたので、今後もワクワクするような企画を考えていこうと思います。

参加して下さった皆さん、ありがとうございました。



次回は2月9日（日）にフジグラン神辺店『手作りの店 ほっと』で“フェルトでチョコレートのマグネット”をつくります。詳しくは、『手作りの店 ほっと』に掲示しているポスターまたは、一れつ会ホームページをご覧ください。

（ウイズ 岡山 恵美）

一れつ友の会の会員になってください

一れつ友の会は、社会福祉法人「一れつ会」が、運営する施設や将来計画している施設の運営に協力し、心身障がい者福祉の向上と福祉教育を通して、互いに助け合いの社会づくりを目的としています。

活動推進のために、この会の目的をご理解頂き、友の会への新加入・ご更新をお願いいたします。

○普通会員 1口 500円／月 ○協力会員 お気持ちに応じて

お問い合わせ・お申し込みは一れつ友の会（せんだんの家内）までお願い致します。TEL (084) 972-5544



「QRコード」から
過去の地域だよりを
ご覧いただけます。